

NPO 法人

# 八王子つばめ塾

## 10年史







# 10周年を迎えて

この「10年史」を手にとっていただきありがとうございます。みなさまのおかげをもちまして、八王子つばめ塾は任意団体として発足してから11年、NPO 法人を設立してから10年を越えました。

しかし、どんなに時間が過ぎようと、無料塾を初めて知った時の衝撃、感動を忘れることはありません。「経済的に苦しいご家庭の子どもたちに、無料で勉強を教える。」こんなに素晴らしいことはない。こんなに素晴らしいことを実際に行っている人がこの世にいるのかと、心の底から感動しました。あの感動は、どんなに文字を費やしてもここに書き尽くすことはできません。みなさまに伝えたいのは、この一つだけです。経済的に苦しいご家庭にとって、一番大事なことは、無料であることです。このシンプルなことを、これからも変わらず、愚直に実行していく、ただそれだけです。

世の中にはいろんなご託を並べて、無料塾を批判する人がいますが、全く気にすることはありません。スマホをいじるだけで簡単に批判できる世の中であって、つばめ塾の講師は、その手でとても大事

ごあいさつ



小宮位之

認定NPO法人八王子つばめ塾理事長  
たか ゆき

なことをしているのです。生徒の隣で教科書をめくり、裏紙で説明を書きながら、実際に勉強を教えているのです。これ以上尊いことはありません。そして、見たこともない、名前を知ることもない塾生に対し、つばめ塾を信じて、現金や物品を「ご寄付」下さる支援者のみなさまも、遠くから塾生の幸せを、手を合わせて祈ってくれています。そして何より、経済的に苦しい立場にありながらも、自分の手で、勉強をとおして、未来を切り開こうとしている塾生のみなさんが「学ぶ場」に、つばめ塾がなっていること以上に名誉なことはありません。

私は理事長として、ひたすら毎日パソコンで文字を打っております。去年は『「無料塾」という生き方』という本を書き、世の中に無料塾の素晴らしさを広めようと努力しました。また、無料塾を開きたいという相談はひっきりなしに届いており、見学もたくさん来ます。これからもこの手を人を批判することに使うのではなく、人を励ますほうに使っていきたいと思います。この10年史を読んでくださった方も、応援いただけたら幸いです。

## もくじ

八王子つばめ塾のあゆみ .....	1
講師インタビュー	
中村祐之さん .....	2
大橋多寿子さん .....	3
河合佐保子さん .....	4
尺長憲昭さん .....	5
無料塾鼎談 .....	6
中野よもぎ塾 大西桃子さん	
相模原みのり塾 小布施実穂子さん	
慈有塾 高木実有さん	
弟子塾インタビュー	
茶山敬子さん .....	10
保護者インタビュー .....	11
M.Oさんのお母様 O.Aさんのお母様	
卒業生の声	
自治体公務員 Sさん .....	12
専門学校生 Rさん .....	13
イベント写真 .....	14
無料塾一覧・会計報告 .....	16
メディア掲載 .....	17
お祝いの言葉 .....	18
編集後記 .....	20

# 八王子つばめ塾のあゆみ

## 2012

7月 ブログにて所信表明

8月 入塾希望者から連絡

9月 初の入塾面接

### 9月 初の授業

9月 初のボランティア講師との面接

## 2013

8月 初の夏期講習開催

### 9月 1周年 BBQ 大会

### 10月 特定非営利活動法人化

### 12月 第二教室(南大沢)開設

## 2014

### 2月 第三教室(中野上町)開設

### 3月 第四教室(大船)開設

7月 「ブーピー工房」から会場提供

### 9月 第五教室(八王子駅前)開設

## 2015

### 4月

社会福祉法人中心会の児童養護施設

「中心子どもの家」と

「無料学習支援事業における連携協定書」を締結

5月 初のつばめ塾卒業文集

7月～8月 中学生・高校生・大学生奨学金を創設

### 10月 第六教室(めじろ台)開設

## 2016

### 3月 教室名を地域名に変更

### 7月 めじろ台教室を廃止し、 並木町教室を新設

8月 つばめ塾お米プロジェクトを開始

10月 公式フレーズを「学びたいキミとともに」へ変更

## 2017

### 2月 北野教室を開設

### 3月 淵野辺つばめ塾を開設

### 8月 大阪府豊中市に「豊中つばめ塾」開設

### 10月 八王子つばめ塾設立5周年記念 報告会・懇親会を開催

## 2018

### 3月 姉妹校「鶴川つばめ塾」開設

### 4月 泉町教室を開設

7月 大学生つばめ第1号 ボランティア講師として参加

## 2019

### 3月 「東京つばめ無料塾」開設

南大沢教室の開設5周年記念パーティー

### 11月 認定 NPO 法人化

## 2020

### 3月～6月

### コロナ禍により教室一時閉鎖

## 2022

1月 奨学金の名称を

「原島記念学生奨学金」と改称

4月 八王子つばめ塾

公式 YouTube チャンネルを開設

### 10月 設立10周年記念交流会

## 2023

1月 卒業生・保護者用の公式 LINE を開設

### 6月「淵野辺つばめ塾」合併を決定

10月 法人設立10周年

### 12月『無料塾という生き方 教えてい るのは希望。』(ソシム刊)発売

# 講師インタビュー

中村祐之さん



つばめ塾を通して、これまで以上に社会問題を深く考えるようになったという中村さん

## 職場とは違うつながりを求めて、ボランティアを志す

ボランティアを志した理由は、職場の環境変化がきっかけでした。社会人5年目～6年目だったころ、親しかった同僚や後輩たちの退職が重なって、気分がふさいだり仕事に対してネガティブになった時期があったんです。その気持ちを紛らわせるために、職場とは別の社会とのつながりを作ろうと思いました。SE という職業を生かした、パソコンの使い方を教える高齢者向けのボランティアと迷ったのですが、検索で八王子つばめ塾のブログを見つけました。そこに、私が住んでいる南大沢地区で新教室の立ち上げを考えているという話があり、いいタイミングだと思い小宮先生へメールを送りました。八王子つばめ塾が始まってから1年ほどたった時期、2013年の秋のことでした。



## 講師冥利に尽きる「帰って来たつばめ」

つばめ塾は「もうひとつの社会的な居場所」

Profile：南大沢教室の開設時からボランティア講師として参加し、現在は同教室の代表を務める。つばめ塾全体の夏合宿をヒントに、南大沢教室独自で冬合宿を企画。

## 大学生になった生徒から届いたLINE メッセージ

中学2年から3年の受験期に勉強を教えた生徒が印象に残っています。現在は中学生以上しか受け入れていませんが、塾生の兄弟であれば小学生でも受け入れていた時期があったんです。その生徒は小学校6年生から通い、そのまま中学3年間もつばめ塾に通っていました。無事合格し、高校へ進学してからは別の塾に通いつばめ塾とは関わりが途切れていましたが、受験シーズンのサポートをしていて、たあいのない世間話をする間柄だったので連絡は取っていました。

その生徒から「つばめ塾で講師をするんです」とLINEで連絡をもらったときの驚きとうれしさは今でもよく覚えています。ひと言も、いつかボランティア講師をしてほしい、と言ったこともなかったのに、まさか戻ってくるとは思っていませんでした。自分が教えた生徒が大学生になり、自発的に自分の力を少しでも社会のために生かしたいとつばめ塾に講師として戻ってきてくれたのです。自分がかつてサポートした生徒がサポートする側になっている姿を見ると、講師冥利に尽きる体験というのはきっとこれなんだろうと感じます。

## 人生に新たな視点を提供してくれた場所

社会問題に対してそれまでそれなりに関心を持っていたつもりでしたが、実際にボランティア活動を行うようになって、現実の状況が見えるようになってきました。具体的にどのように自分が社会に貢献するのがよいのか、より深く考えるようになりました。

つばめ塾という場で、本当に多様なバックグラウンドを持ったたくさんの講師の方々と出会えました。教育に関する話題で議論を積み重ねられる相手と一緒に過ごす時間は、大きな財産であり自身の成長にもつながったと思います。

ビジネス視点とは違った視点の、ボランティア活動を通じて、本業の仕事にも張り合いが出て、ネガティブだった仕事に対する新たなやる気も生まれました。つばめ塾は僕の生活全体を活性化する場所なんだと思います。会社というのは、よくも悪くも似たような人が集まっている場所です。そことはまったく違う多彩な人たちと関われる場所にいられることで、新しい視点や考えを知るきっかけを与えてくれる重要な場所であり、大きな影響を与えてくれたと思います。



# 講師インタビュー

大橋多寿子さん



ときに優しくときに厳しく塾生と向き合う

## 「教育」とは子どもに環境を与え、知らない世界を見せること

子どもへの教育で私の根底にあるのは「知らない世界を見せて、知らない人に会わせてあげたい」という思いです。かつて、重度の知的障害を持つお子さんに、2年間ほど絵本の読み聞かせをしたことがあるんです。じっとしてられないお子さんでしたが、続けるうちに明らかに聞いているのがわかるようになりました。そのうち、私の手を自分の顎に持って行っていきいっていきいって。それは親御さんがその子に行く発音指導の仕草と同じだったんです。もしかしたら、自分で読みたい、そんな気持ち芽生えたのかなど、その反応が嬉しくて。そのときに、気が付いたんです。読んだ本の受け売りなんです。「教育がないのではなくて、教育の方法がない」というだけのことだって。

つばめ塾はそれと同じ。経済的困



## つばめ塾は、ライフワーク

ボランティアはボランティアで

Profile : 担当は数学・英語。外国暮らしで感じた子どもへの教育の格差と「ないのは教育ではなくて、教育の方法」という言葉を胸に、つばめ塾草創期から講師を務める。

窮で教育が受けられない子どもたちがいるのなら、それでも学べる場を社会的インフラとして作ればいいんです。教育の方法を探す努力、続ける努力をして、子どもたちの取り巻く環境を整える、これらをするためにつばめ塾は必要なんです。

## 同じ志、そして高い熱量。ともに歩むに最適なリーダーが小宮氏

私は子どもが4人いるんですが、皆成人して手が離れたので教育に関わるボランティアがしたいと探して、つばめ塾にたどりつきました。小宮さんと会ってみたら、同じことを考えている人、そして熱量の高い人だと感じましたね。そして10年経った今も無料塾をやり抜くという熱量は高いまま。なので、私もおそらく他の講師陣も熱量を高いまま保って、ついていきやすいんでしょうね。

つばめ塾では学歴や就職のためだけの学力ではなく、視野が広がる学力を身に付けてほしいです。講師は子どもを取り巻くいろいろなものに配慮してよい方向へ持って行く。例えば、目標を立てどう勉強を進めるか逆算する。どこから始めるか、必要な集中度はどれくらいか？そのプロセスを知るのが、教育を受けるといことだと私は思っています。

## 講師としての最高の楽しみは子どもの「あ！わかった！」の顔

子どもたちと何カ月も付き合っていると変化が面白いです。「おや？勉強って面白いな」と思い始める子が出てきて。子どもにとって「自分でものが理解できる」それを知るのは自信に繋がるんですよ。私にとって最高のご褒美は、子どもたちの「わかった！」の顔。それは、子どもが自分への信頼、自己実現みたいなものを掴んだ瞬間なんでしょうね。

そしてつばめ塾には、どうしても学校の授業についていけず学校に捨てられているような子もいます。おそらく学習障害があると思うんですが、そういう子が四苦八苦して都立高校に受かり「〇〇先生には感謝してるんだ」なんてこっそり教えてくれると、一緒に勉強できてよかったですと心から思いますね。

## ライフワークとして、体の続く限り、子どもたちに教え続けたい

つばめ塾はライフワーク。老害にならないようにして、つばめ塾で一生教えたい。小さな穴があれば、社会を変えられるかもしれませんから。大河の一滴ですね。

# 講師インタビュー

河合佐保子さん(事務局兼任)



事務局スタッフとして、事務作業や入塾面談を担当する河合さん

## 中学生の持つ可能性を感じ、この年代と関わりたい!と思った

私は長年、企業や大学の研修、資格取得講座の英語講師をしていました。私の子どもが中学生のとき、子どもと一緒に、近所の中学生たちに無料で英語を教えていたんです。近所に勉強を教えてくれる大人がいる、そういうのがいいなあと思ってやっていました。

その経験の中で、中学生の伸びる可能性をすごく感じ、この年代と関わると面白い!と思いました。そして、「中高生」「ボランティア」で探したら、つばめ塾に出会いました。

## 6時間の面談から始まった小宮氏・つばめ塾との出会い

小宮先生と初めてお会いし、面談で6時間も話し続けました。小宮先生は塾を始めて5年目くらい。今後のつばめ塾の運営において、中



## つばめ塾は新しい物差し

ボランティア経験で社会が違って見えてくる

Profile: 講師として活動していたときは英語を担当。現在は事務局スタッフとしてのボランティア活動がメイン。夏期講習や冬期講習に参加することも。

高生の保護者という私の立場がちょうどニーズに合ったのだと思います。話が止まらず、1時間の予定が6時間になってしまいました。このとき、講師もやりたいけど、運営に関わると何か面白いことができるのかな、というようなワクワク感がありました。

## 運営に関わって、気が付いたこと。知ったこと

事務局スタッフとしては、生徒そして保護者の方と入塾面談を行っていました。実際に面談でご家庭の事情をお聞きする前は、親が忙しすぎて構ってもらえていない子どもたちというようなイメージだったんです。

ところが実際には、教育熱心な親が多いなという印象でした。すごく、しっかりした方たちで、何らかの事情があって一人親家庭になられているという状況なんです。一般家庭と何も変わらず、教育に関しても悩んでいらっしゃるし、子どもと関わろうとしている。ただ、相談するパートナーがいなかったり、塾代をいくらかは出せるんだけど、やはり夏期講習や冬期講習のような、まとまった金額を

出すのは辛い状況なだけなんです。決して、放っておかれている子どもたちじゃないんです。

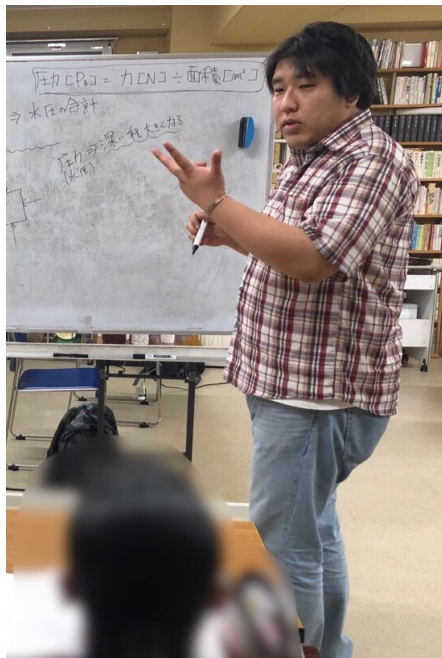
## 新しい物差しで、社会を見るようになってきた

30代から40代になってくると、自分の物の見方が決まってきた、全部見えているかのような錯覚で物事を考えがちです。私自身、そうでした。しかし、つばめ塾を経験したことで、ニュースで社会問題を取り上げているときに、必ず「もしこれがつばめ塾の生徒さんのご家庭だったらどうなんだろう」と考えると、全く違う意見を持つようになりました。今まで社会の半分しか見えていなかったんだな、と感じます。

これからも、多くの方につばめ塾を経験していただきたいと思います。ボランティアは基本的に「誰かの助けをしたい」と思って来られる方たちなので、本当に良き出会いが多いんです。「何か世の中ちょっと違うんじゃないか」と問題意識を持っている大学生の皆さん、経験豊かな社会人の皆さん、本当にいろんな方と出会えるのでボランティアをするメリットがあると思います。

# 講師インタビュー

尺長憲昭さん



「生徒を置き去りにしない」が  
モットーと語る尺長さん

## きっかけは、同僚のボランティア活動

2015年の2月からボランティア講師を務めています。ボランティアを始めるきっかけになったのは、東日本大震災でした。会社の同僚がボランティア休暇をとって、東北で復興支援活動を行った話を直接耳にして、私も何かできないかと感じました。私にできる支援について思いを巡らしているとき、何気なく見た夕方のニュースで「無料塾」が取り上げられていました。ほんの数分のコーナーでしたが、ちゃぶ台を囲んで、子どもとおじさんが勉強している様子を見て「これなら私にもできるのでは」と思い、ネットで検索して見つけたのが八王子つばめ塾でした。

その後は3週間くらいでしょうか、つばめ塾のサイトに載っていた講師インタビューを何度も繰り返し



つばめ塾での活動は、  
自分の考えをまとめて、整頓させてくれた

どんな形であっても、つばめ塾を通じた教育を続けていきたい

Profile：数学をメインに、理科や英語も担当。親でも先生でもない、という立場を明確にするため、生徒と話すときには必ず、生徒の名前で呼びかけるという。

見ていました。テレビで見たときは敷居が低い気もしたのですが、いざ受験生を相手に教えると思うと、簡単にはできないなと思い、少し逡巡したのです。男たるものボランティアを始めるからには、そう簡単にはやめるわけにはいかないといった、古風な気持ちがありました。考え続けた末、やっぱり話を聞いてみようという覚悟を決めて、小宮さんへ連絡しました。

小宮さんから話を聞いて初めて、札幌出身の私から見れば「都会」の八王子にも、経済的に苦しい家庭や子どもが確実にいることを実感しました。ふだんの生活のなかでは見た目では分からないから、身近に存在している感覚がまったくなかったのです。

## プロの教育者ではない「第三の大人」として、心がけていること

講習を始める前に、生徒に必ず伝えていくことがあります。一つは、親や親戚でもなく、学校の先生でもない、地域の大人という「第三の大人」だということ。もう一つは、ここでは先生だけどプロの教育者ではないということです。そのうえで、生徒に少しでも勉強を分かって帰ってもらいたいと、スライドの作り方や伝え方を通じて、努力している姿や片鱗は見せるようにしています。少しでも

記憶に残って、テストや学校の授業で「これ、つばめ塾で見たことある」と思い出してもらえるような内容を心がけています。また、生徒を置き去りにしないことを特に意識しています。子どもが分からないと言ったら、何が分からないかを理解するまで、話を聞くようにしています。

## つばめ塾での教育は、ずっと続けるべき「未来への投資」

一度始めたからには、そう簡単にはやめないという思いで講師を始めました。「ボランティアで子どもたちに勉強を教えているんだ」と人に胸を張って言えるのは、10年や15年間くらい続けて初めて言えるものだと思っているからです。

その思いを後押ししたのが、つばめ塾で講師を続ける理由を「未来への投資」と表現されたボランティア講師の言葉。そして南大沢教室の女性講師のご主人が語った「教育が国を繁栄させる戦略の一つ」という言葉です。教育はすぐに効果が出るものではないが、生徒の学力底上げに少しでも貢献することが、10年後20年後の日本への投資になるという話に強い衝撃を受けたのです。私ができる「つばめ塾を通じた教育」は、未来への投資の一つです。だからどのような形でも続けていこうと強く思っています。





中野よもぎ塾

東京都中野区で2014年から活動。中学生を対象に毎週日曜の授業の他、受験生講習やイベントも。

大西桃子さん



相模原みのり塾

2016年にできた相模原市第1号の無料塾。対象は中学生。教科の授業と創造学習を毎週実施している。

小布施実穂子さん



慈有塾

貧困等、様々な事情により教育機会を失ったまま成長した若者を対象に、高等学校卒業程度認定試験(高認試験)の学習支援をする無料塾。

高木実有さん



## 学校、家庭、そして無料塾。第三の居場所としての 各地域で子どもたちに向き合う無料塾代表。現状に対する悩みや葛藤、

**小宮** 八王子つばめ塾が法人設立10周年を迎えました。各地域で無料塾の運営に携わっている皆さんから、子どもたちの現状や頑張り、無料塾をやっていく上の課題などを聞かせてもらえたらと思っています。

**高木** 慈有塾は高等学校卒業程度認定試験や大学合格を目指すお子さんや社会人の方を受け入れています。中には住む場所に困っているくらい困窮している子がいるのが現状ですね。大学で勉強したい、進学したいという子を応援するんですが、やはり進学費用はすごくネックになっています。給付型

奨学金の大半が「高卒」「高校卒業見込み」「高校卒業後1年以内」という条件を設けているので、慈有塾にいる子はそこに当てはまらないことが多くて。なので、支援者の方にお金を出してもらったり利用できる制度を紹介したりして、今は4人が奨学金を使っています。1年で20~30万円ほどを受け取り、何とか送り出している状態ですね。

慈有塾をやっていてよかったと思うのは、色々な大学へ進み色々な人生を歩んでいるOBOGが増えてきて、その分慈有塾としての蓄積もできてきたことです。「こんな大学もあるよ」って進路相談で伝えられますしね。

**大西** よもぎ塾は母子家庭と多子家庭が半分以上です。3人や5人きょうだいが普通にありますね。過去の生徒では、事情があって他のきょうだいは施設で暮らしているけど、その子はおばあちゃんと一緒に暮らしている子がいました。おばあちゃんからは毎日食事代として300円をもらって何とかしていると話していました。あと、親御さんに精神障害があって、お子さんが家のことを全てやっているヤングケアラーもいました。その子は家庭環境が落ち着かなくて、生きていく上で必要な常識を誰にも教わることができていませんでした。野菜の名前を知らなかったり、クリスマスパーテ

## 役割を、必要とされている限り続けたい 今後の運営について

イーがテレビの中のフィクションだと思っていたりして。だから給食も何がなんだかわからないけど食べていた、そんなふうな生活が超サバイバルになっている子もいますね。

他には、親御さんが難民申請中の仮放免状態になっている外国籍の子どももいました。そうすると、お子さんは学校へ通って勉強しても将来日本で就職ができないため、この先どう生きていくのかと考えてしまいます。今は在留資格がもらえることになりましたが、仮放免を引き延ばしている状態での生活が続いていけば、色んなことのしわ寄せが子どもに來ます。無料塾が勉強をサポートするだ

けではなんともなりません。

**小布施** うちの塾生の傾向は、相模原市の制度が使えなかった子が来る感じです。相模原市が家庭教師のトライと組んで、家庭教師の派遣を始めたんです。塾に行けないご家庭はまずそちらに申し込んで、ダメだったらみのり塾に来るので、一時期よりは申し込みは殺到せず人数が落ち着いています。

他に気になることは、ヤングケアラーかな。先日入った子は、親御さんの目が見えないため、学校の手紙を確認するとかができないんです。なので、全部自分でやってしま

た。その子とはとにかくお母さんを守らないという気持ちが強くて、反抗期と言われる年齢ですが、それどころじゃなくて。同じ中学生と境遇が違う中、何とか頑張って高校へ進学したんですが、入学時の準備も大変でした。みのり塾の卒業生から制服やジャージを譲ってもらい私が裾上げをしたりして。一般の家庭では親がやると思うこともその子の親御さんにとっては難しいので、学習の他にもなかなか根深いものがあるなど感じています。

でもね、みのり塾に来ている生徒はみんなかわいいです。うちに来る生徒はおとなしくて自己肯定感の低い子が多い気がして、だから講師の皆さんには何かできたら褒めることを大切にしてもらっています。ただ、毎年必ず不登校の子がいるのはずっと気になっていますね。全国に何万人という不登校の子をこれからどうケアしていくのか。無料塾としては、こういう子たちに十分には教えられていないなと思って……。

無料塾と子どもがどういう関係性を作るのがいいのか、日々悩みながらやっています。全員にうまくいってるかは……わからないですね。

**高木** 慈有塾は80%ぐらいが不登校の子です。学校が嫌で行かなかった子、家庭環境が





## 子どもの環境は千差万別

学習を通じて、塾生に合った受け皿を模索する

問題で行かなくなった子、そんな子たちが(慈有塾に)流れついて来てるので、そういう意味では不登校の受け皿になっていると思うんです。

**小布施** 不登校の子はとりあえず高校には入れるんだけど、後から聞くと高校をやめている子が多い。2年生になれなくて県立から通信制高校に行くんですが、多分続いていないかな。通信制高校は、ただ入ればいいわけではないですよ。私立の通信制高校の広告をたくさん目にするんですが、詳細な情報が少ないのですごく悩んでいます。不登校の子が通信に行くが決まると、最初は

「わー!やったー!」と喜んでですが、続けるのはなかなか難しいみたいですね。

**高木** 通信に入ったもののやめてしまい、5年10年経ってから「やっぱり高卒資格が必要」と慈有塾に高卒認定の相談に来る感じはあります。ただ、不登校の子は何が登校のきっかけになるか本当にわからないんですよ。以前、小2からずっと不登校だった子が中3で慈有塾に来て都立高校に入ったんです。通えるかなと心配だったんですが、それまでの事情と関係がない環境になったせいか、今、ものすごくエンジョイしてて。

**大西** よもぎ塾は高校中退した子が3人います。うち2人は不登校。ただ、この2人は家庭環境が落ち着かなくて、まずは親から離れて自立することが大事という段階なんです。もう2人とも20歳を過ぎていて働いているし、きちんと稼げる。でも大検を受けたいと言っているんで、その節は慈有塾でぜひ(笑)。

**高木** オンライン授業も始めたので、遠くから通わなくても大丈夫ですよ!

**小宮** みなさん、本当に色々なタイプのお子さんと向き合っていますね。子どもたちとの接してきた中で印象に残っていることってありますか。

**高木** 一時期よりは減ったんですが、来なくなってしまう子がやはりいるんです。昔は最後の試験合格まで続くのは全体の3~4割だったけど、今はそれが逆転してやめる子が3割~4割になっているような気がします。私が関わり過ぎて色々言い過ぎたのが良くなかったのかと思ってね。最近は忙しすぎてうるささがなくなったのか、緩い感じになったかな。あまり私が強く出ない方がいいのかも。でもやめてしまう子は一定数いるので、やめた後にどうしているのかが気になりますね。

**小布施** ケースバイケースなんですけど、家庭の事情は詳しく聞いても何もできないのが現状です。福祉的なアプローチができるわけではなく……。ただ、やっている中で思うのは、大変な状況を聞いてくれる人がいるって、そこが大事なのかなって。塾は家や学校とは切り離された場所だから、大変なんだ、嫌なことあるんだって話せますよね。そうしようと思ってやっているわけではないんですが、家族や友達がいなくて自分の話ができる環境を作れているかもしれません。

**大西** さきほどの精神障害があるお母さんと暮らしていた生徒のケースでは、学校が介入して私たちの塾を見つけて入塾につながり、生活が立て直されました。その子のお母さんは障害者手帳を持っておらず、これまで誰もその手続きをせずにきて、ケアマネもついていない状況だったので、その子の学校の先生がご家庭に介入してくれて。でも、その子は小学生から自分がお母さんの面倒を見てきたし、自分が何とかできると思っているのに、大人がずかずかと家に入り込んできて、障害者って書かれた手帳が届いてびっくりしちゃったんですね。担任や校長先生、養護の先生ががんばってくれたんですが、「あいつら嫌い。なんて勝手に人を障害者扱いするの」と怒ってし

まいました。

ただ、学校はよもぎ塾と連携してくれて、「憎まれ役は全部学校でやるから、塾はそれとは対極でいてもらっていいですか」と頻りに連絡しあうようになったんです。その子、学校で「塾に行けるようになった」と嬉しそうに話をしていたそうです。学校がそこまでしてくれたおかげで、その子の生活が立て直せて、高校へ行って専門学校へ進んだんですよ。

**小宮** 八王子つばめ塾もそうですが、「重なると大変」ってのがありますよね。シングル家庭ということだけなら何とかなりそうでも、そこへ病気や介護が重なったり、親の会社が潰れてしまったりと、なぜこんな厳しい状況が重なるんだろうと感じますね……。

現場のお話、本当にありがとうございました。最後に一言ずついただけますか。

**高木** 私は今、仕事と育児で追い詰められている状況なんですけど、意地ですね。子どもたちが必要としてくれているなら、意地で続ける。他にあまり行き場のない子どもたちをほっぽり出すわけにいかないという思いでやっています。意地が8割とボランティアさんと生徒さん、その他色々な皆さんの支えがあってやれています。

**大西** 私はルーティンなので。週末の通常授業の他、平日の夜は我が家に勉強しに来た生徒の横で私が仕事をして、ご飯作って食べて。大人になった生徒たちと飲みに行ったり。塾は生活の一部です。夜、ピンポンと鳴って開けたら、うちの卒業生たちが「遊びにきたよー」って。そんな感じでやっています。

**小布施** 私は「お金のある人だけが勉強できるってどういうこと?」って思いが根底にあります。自分がしんどい子ども時代だったってこともあるんですが、そういう子がいなくなればと思ってやっているのが大きいですね。自己を肯定できる幸せってどこにあるんだろうと思ったときに、学校と家庭以外で子どもを認めてくれる場所という役割ができるんだったら本望。ただこの世の中、勉強ができた方が色々な意味で生きやすいのも確かなので、その生徒を認めると同時に学力もつけてほしくて。バランスが大事だなと思ってやっています。居場所自体も大切だけど、せつかくなら学力も上がってくれた方がいいな。頑張れる環境を作るのが私の役割ですね。



ある日の中野よもぎ塾の授業風景



# 弟子塾インタビュー

茶山敬子さん



今も昔も、若者支援に  
尽力する姿勢は変わらない茶山さん

## それまで知らなかった 「若者の貧困」

高齢者のケアに携わりたいと思い、50歳を過ぎてから社会福祉士の資格を取りました。生活保護を受給する高齢者の多い施設で1年働き、高齢者だけではなく20代・30代で生活保護を受ける人もいました。学校でのいじめからの引きこもりや発達障害など、高齢者の貧困とは理由がまったく違うのです。

それまで知らなかった若い人の貧困を目の当たりにして、義務教育後の教育を受けられなかったことが大きな要因になっていると知り、教育分野でサポートをしたいと思うようになりました。その方法を調べるうちに、ネットで八王子つばめ塾を知りました。

無料塾なんて本当にあるんだ、どうやって運営しているのだろうと不思議に思い、2~3年ウォッチしていました。運営方法や実際の取り組みな



## 高齢者ケアの現場から 若者の貧困をサポートする無料塾へ

Profile：2016年に高槻つばめ学習会を設立し、学習支援を開始。2024年4月から、学校や社会に繋がりがづらい若者に向けた相談支援活動「高槻ジャンゴ」を始める。

ど、他の無料塾と比べて情報公開をしっかりとしていたので「ここなら信用できる」と直感し、小宮さんへ塾の見学を申し込みました。

見学時に印象深かったのは、生徒の皆さんがとても明るかったこと。そしてさまざまな年代の講師が「やらされている」のではなく自律的に教えている姿です。そういう人たちを集める求心力が小宮さんにはあるんだと感じました。

## 無料塾主催者にとって 重要な2つの言葉

その後、運営方法などについて小宮さんから話を聞きました。よく覚えているのが「この活動は全然バラ色じゃないですよ」「言葉ではいくらでもキレイごとを言えます。大事なのは自分が汗をかいているところを見せること」と言われたことです。当時は「社会起業」がもてはやされ、メディアでも持ち上げられていたから、実際に活動をしている人の言葉はすごく説得力を感じました。高槻つばめ学習会を始めてから、無料塾の主催者はその2点さえ分かっていたらいいんじゃないかと思うくらい、重要なことだと思っています。

現在は、学校や社会との繋がりを

持ちにくい子ども・若者の相談支援を始めました。無料塾も現在の活動も、潜在能力を生かすことができない状況にある子どもたちを後押ししていく活動という点は、同じだと思っています。

## 卒業生の就職フェアで 後輩の心を動かしたい

八王子つばめ塾で行われている、卒業生による「就職フェア」はぜひやりたいですね。卒業生から初任給の話や高校の授業についてなど、当事者からの生の声を聞くことは、私たちが「進路の選択肢を広げるために勉強しよう」と話すよりも、塾生の心に響くし役に立つんじゃないかと思います。

卒業生も経験を後輩に語ることで自分を振り返るきっかけになります。「中学3年の時は本当は大学に行きたかったけど、今はこうで……」という本当の思いは、進路に迷いながら勉強をしているさなかで言葉にするのはきっと難しいですよ。自分を振り返りながら、当時の思いを語るエピソードにこそ、今、同じ進路選択の岐路に立っている後輩の心を動かす力があると思います。



# 保護者インタビュー

## M.O さんのお母様

——つばめ塾をどこで知りましたか？そして入塾のきっかけは？

息子が中学3年生の時に府中市へ転入してきました。以前は鹿児島県にいて、その時にテレビで鹿児島県のつばめ塾が紹介されていたのを見ました。一般の塾はだいたい4~6万円、とても出せる状態ではなくて。

転入先の府中の中学校は数学の授業がものすごく進んでいるところだったんです。他の教科はコロナ禍でそうでもなかったんですけどね。鹿児島にいた頃は数学が苦手ではなかったんですが、習ったことがない内容で面食らったみたいで、とにかく数学が得意なくなってしまって。それで、数学だけでも塾に入れたいと思ったんです。

——無料塾ということで怪しいとは思いませんでしたか？また、入塾前後のつばめ塾に対する印象は？

(テレビで見ていたので)怪しいとかは全く思っていなかったです。どういう教え方をしてくれるのかなと興味津々でした。マンツーマンで教えてくれて、質問にはすぐ答えてくれるので息子はすごくよくわかると気に入っていたし、成績が偏差値で10くらい、ものすごく上がったので通ってよかったです。ただ、進路相談する相手が決まっているとよかったかな。担任のようにこの子にはこの先生という感じでつけてもらえたら、ありがたかったですね。

——つばめ塾に通い、お子さんに変化はありましたか？

鹿児島にいた頃はダイニングテーブルで宿題をするだけだったんです

が、自宅で勉強をするようになり、習慣がつかえました。

——将来、お子さんにどんな大人になってほしいですか？

大学へ行って会社勤めをと思っていましたが、最近は経営とか、何かしら社会の中でリーダーになりたいのかなと感じているので、やりたいことが見つければいいですね。学歴のための大学ではなく、働くために資格を取ったりして将来に結び付けてほしい。そのための大学進学でもあるのかなと思います。

### M さんの塾でのひとコマ

M さんはとにかくポジティブ。数学の定期テストで20点を取ったんですが、次のテストでは40点。「2倍だ！次は80点だ！」って言ったんです。素晴らしく前向きですよ。高校では数学で1番になったそうですよ。

## O.A さんのお母様

——つばめ塾をどこで知りましたか？そして入塾のきっかけは？

市の社会福祉協議会で塾費用の補助のことを調べていた時ですね。インターネットでつばめ塾を見つけて問い合わせをしました。うちには子どもが6人います。上の子たちの一般の塾の費用がものすごく高くて。今は離婚しているんですが、当時の夫は「将来のために勉強をする」という考えがなく、子どもの教育にお金をかけない人だったんです。次の子からは一般の塾へ行かせるのは厳しいと考えていたところにつばめ塾を知って。お世話になったのは3番目の息子なんですが、発達障害的な要素があるので、余計に普通の塾では難しいのではないかと考えて、つばめ塾に決めました。

——無料塾ということで怪しいとは思いませんでしたか？また、入塾前後のつばめ塾に対する印象は？

正直に言うと、塾としてのクオリティはどうなんだろうと思っていました。普通の塾は利用者がお金を払って講師は報酬を受け取りますよね。イコール責任が生まれるけど、その報酬が得られないとなると、教える側の意気込みはどこにあるんだろう？大丈夫なのかなと思っていました。

息子は学校の宿題もテスト前の勉強もせずに遊んでいるような子で、学校の先生としては受け入れがたい生徒だったのかなと思うんですが、つばめ塾はそんな彼でも受け入れてもらえる場所でした。なんとか勉強をできるようにしてあげたいという先生たちの姿を見て、入塾前の「塾の責任はどの？」という先入観はすっかりなくなりました。

——将来、お子さんにどんな大人になってほしいですか？

私がいなくなっても、一人で……彼の家族と一緒にかもしれないですけど、一人で生きていければいいかなと。そのためには、学力が全てではないけど学歴や資格、取れるものは全部取って支度をしてほしいですね。お金がたくさんかけられるわけではないので限りがあるんですが、その中でもその子ができることで準備していったらいいですね。

——経済的に苦しい家庭の子どもが学ぶために行政に期待することは？

支援を受けるための資格に成績があると苦しいですね。そういった家庭は学校以外の学習の場を与えることが難しいので、学力が低くなる傾向があると思うんです。学習環境を整えば学力が上がる子もいるのではないかなと感じています。



## 公務員という夢をつかんだつばめ塾は、 「もうひとつの社会的な居場所」

～自治体の若手職員が語る、塾の思い出と公務員としての志～

### 自治体公務員 Sさん

塾の卒業生であり、現在は多摩地方の自治体で観光関連の仕事を担当する若手職員の S さん。中学校時代の塾での思い出や、公務員を志したきっかけ、仕事のやりがいなどについて、塾の先生と対談しました。

#### —中学校時代、つばめ塾ではどんなことが印象に残っていますか？

やはり夏期講習の時に皆で集まって授業を受けたことですね。集団の授業も面白かったですし、みんなが分かっていることを共有する。教え合いの大切さを学びました。あと面接練習も印象深いです。本番さながらの緊張感を味わえたので、とても勉強になりました。

#### —高校卒業後、公務員を目指したきっかけは何だったんですか？

高校2年の時に受けた、学校主催の公務員講座がきっかけでした。将来の安定した仕事として公務員がいいのではと思いました。親からは無理だと言われましたが、それがかえって頑張るモチベーションになりました。勉強はかなりきつかったけど、火がついて頑張れました。

#### —試験の勉強は大変だったんじゃないですか？

東京都内だけではなく他の地域の自治体や役所もたくさん受けました。全部で10以上は受けましたが、かなりきつかったです。面接で何度も落ちて心が折れそうになりました。卒業する3月の頭まで1つしか受かってなくて。ところが、専門学校の卒業式の日電話が掛かってきて、補欠の繰り上げで合格という連絡だったんです。あとから知ったのですが、筆記試験の成績は2位だったんです。その職場からは不合格の通知しか届かなかったから、補欠候補だったのは知らなくて。

#### —それは奇跡みたいな話だね。今はどんなお仕事をしていますか？

観光関連の仕事を担当しています。企業などに補助金を交付する業務や、観光資源として利用して

いる設備の管理など幅広くやっています。今の目標は仕事の手間が掛かりすぎているので、効率化したいと思っています。やりがいがありますが、人手不足で忙しい毎日です。でも安定して働き続けられるのは本当にありがたいですね。

#### —Sさんは高校3年間、つばめ塾に寄付をし続けてくれましたよね。今の目標は何ですか？

高校に入ってからバイトを始めて使えるお金が増えたので、少しでも寄付をさせてもらいました。思い返すとあのころの仕事は今の仕事に比べると負担ではなかったし、自由な時間も多かったんです。今のほうがお金はあるけど自由な時間がないので、戻りたいと思うこともありますね。今の目標は手間の掛かる役所の仕事を効率化することです。それを目指して、日々仕事をしています。



## つばめ塾のおかげで 「高校生活の不安がなくなった」

～つばめ塾に通い、ビックリするほど成績急上昇!～

### 専門学校生 R さん

中学生の2年間つばめ塾に通い、都立高校に合格。高3のころには英語や社会が得意教科に。高校卒業後は専門学校へ進学して、現在は保育士を目指して勉強中です。

—保育士と幼稚園教諭の資格取得を目指しているんだよね。学校生活には慣れた？

最初は緊張しましたが、だんだん慣れてきて勉強にもついていけそうです。入学前に思っていた通りのことが学べていて後悔はないですね。

—バスケットボールは小さいころから続けてるんだよね。高校では部活をやめて、外部のチームに？

はい、小学3年生のころからずっと続けています。高校では1年でバスケ部をやめて、外部チームに移りました。そのころから SNS にチカラを入れるようになったんです。

—今は SNS にも力を入れてるんだってね。

将来、仕事としてもバスケをやりたいです。保育士と幼稚園教諭の資格も生かしながら、バスケ選手を引退した後に、保育園や幼稚園の子どもたちにバスケを教えられたらいいなと思っています。

—なるほどね。将来のキャリアプランをしっかりと考えているんだね。動画の再生回数もすごいんだって？

家族や皆さんの支えのおかげで再生数がのびてありがたいですね。SNS は母が撮ってくれていたバスケ動画が始まりなんです。工夫を重ねてもっと面白い技を考えるようになったことが、再生数が上がったきっかけだと思います。多くの方にみていただきとても有り難いです。これからも技を磨いて頑張りたいと思います。

—つばめ塾に通って変化を感じたことはある？

そう、成績の上がり方がすごかったです。高3で政治経済の成績がクラスで1位に、世界史も1位になりました。テストの総合の成績も学年で4位になって、ビックリしました。中学の時はがむしゃらにやってたんですよ。つばめ塾に

通ってから、肩の力を抜いてやるようになって。そうしたら一気に上がったんで、もっと早くこうしておけばよかったって思いました。つばめ塾に通うのは楽しかったですし、授業のおかげで社会だけでなく、中学時代には苦手だった英語も、最後は5段階評価の5も取れるようになりました。何より勉強全般に自信がついたのが大きかったと思っています。

—自信につながったんだね。いや、本当によかった。

学校生活で、授業に追いつけるかが一番不安じゃないですか。高校の授業は難しいって先輩から聞いていたけど、つばめ塾に行っていたから「ついて行ける!」って思えて、不安もなかったです。歴史は小宮先生に教えてもらったので、本当にありがとうございました。



## BBQ 大会

つばめ塾の伝統行事！塾生や講師や卒業生、その家族が集まります。お腹いっぱい食べて飲んで、近況報告を受けます。全員で集まることができる貴重なイベントです。



## 季節講習・合宿

泊まらない合宿や休暇中の講習も。合宿は朝9時から夜9時までを2日間というハードスケジュール！いずれもボランティア講師や多くの寄付に助けられて開催しています。



## 卒業を祝う会

3月開催。内容は「お祝いの言葉」「記念品贈呈」「生徒から一言」「事務局長挨拶」「記念撮影」と毎年同様ですが、この日を迎えられることにいつも感謝をしています。



## 卒業遠足

2018年3月24日、初めての東京ディズニーシー卒業遠足を実施！支援者様よりプレゼントしていただき、2019年、2021年、2022年、2023年にも開催しました。





# 無料塾一覧

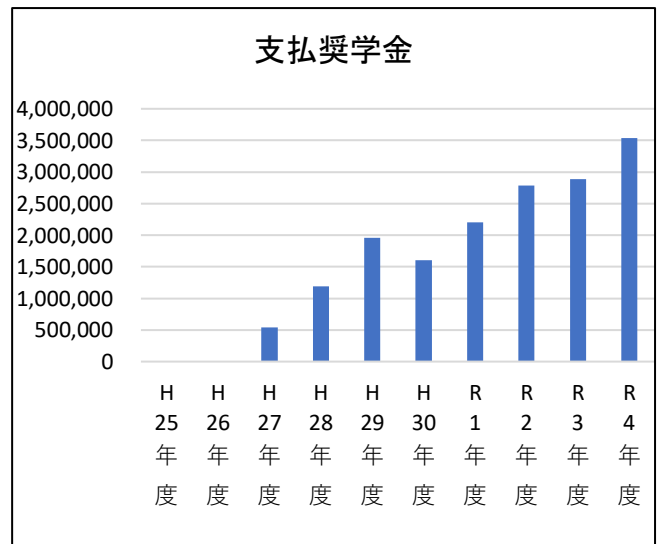
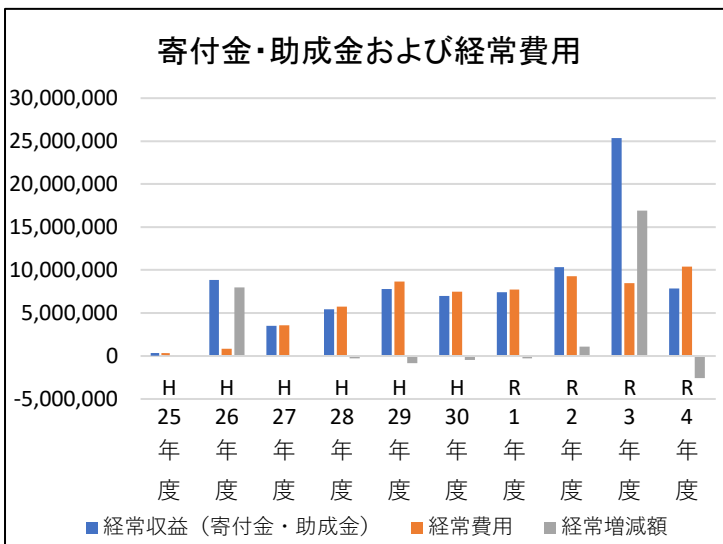
八王子つばめ塾とつながりがある塾の一覧です。(塾名称・開設年月)

2024年10月現在、すでに閉鎖している塾もありますので、お問い合わせの際は各塾のホームページ等をご確認ください。

中野よもぎ塾	2014年3月	仙台わかば塾	2017年5月	鹿児島つばめ学習塾	2019年3月
まなび舎 山形	2014年4月	あすのち	2017年5月	葉師たきび塾	2019年4月
さなぎの杜	2014年6月	茨木つばめ学習会	2017年5月	ノリゼミ	2019年9月
国分寺ぎずな塾	2015年6月	豊中つばめ塾	2017年9月	久喜つばめ学習会	2019年9月
阪神つばめ学習会	2015年8月	千里つばめ学習会	2017年9月	かわさき芽吹塾	2021年5月
すみれ塾	2016年1月	日野すみれ塾	2018年1月	てらこや(唱導寺)	2021年9月
昭島スギナ塾	2016年4月	つるかわ無料塾 結い	2018年1月	江戸ともしび塾	2022年4月
湘南さくら塾	2016年4月	甲州無料塾ココロ	2018年2月	無料塾アハ	2022年6月
高槻つばめ学習会	2016年6月	鶴川つばめ塾	2018年4月	保谷いちご塾	2023年2月
相模原みのり塾	2016年7月	杉並わか塾	2018年4月	Startup あさひ塾	2023年4月
宝塚つばめ学習会	2017年1月	TERACO	2018年4月		
吹田つばめ学習会	2017年4月	東海つばめ学習会	2018年4月		

# 会計報告

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
経常収益 (寄付金・助成金)	127,200	8,819,780	3,486,088	5,450,032	7,799,639	6,984,466	7,437,398	10,349,807	25,353,082	7,841,041
経常費用	109,688	830,435	3,543,401	5,740,908	8,649,992	7,473,843	7,733,028	9,266,750	8,458,963	10,388,133
経常増減額	17,512	7,989,345	-57,313	-290,876	-850,353	-489,377	-295,630	1,083,057	16,894,119	-2,547,092
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
支払奨学金	0	0	543,149	1,192,050	1,956,528	1,600,925	2,207,100	2,782,626	2,885,786	3,540,718



# メディア掲載

## 2013

12月 テレビ朝日「スーパーJチャンネル」

## 2014

8月 読売新聞朝刊・社会面

9月 読売新聞朝刊(多摩版)・「たまご」欄

## 2015

3月 八王子市社会福祉協議会「社協だより」  
八王子市子ども育成計画(コラム)

4月 朝日新聞朝刊(多摩版)

11月 『世論時報』2015年11月号

## 2016

4月 毎日新聞朝刊(多摩版)

5月 東京新聞夕刊

6月 『貧困子どものSOS』  
(読売新聞社会部編 中央公論新社)に掲載  
朝日新聞朝刊  
『AERA』

7月 フジテレビ選挙特番  
『週刊女性』

11月 八王子市NPO情報マガジン  
「SUPPORT802」・NO.75 2016.11.1  
日本テレビ系列「every」  
ニッポン放送「上柳昌彦 あさぼらけ」

12月 朝日新聞朝刊(多摩版)  
小学館『本の窓』  
「いまどきの若いもん」解体新書  
J-WAVE「TOKYO MORNING RADIO」

## 2017

1月 毎日新聞朝刊(多摩版)

2月 日本テレビ系列「NEWS ZERO」

3月 日本テレビ系列「ウエークアップ!ぶらす」

4月 鉄道弘済会『社会福祉研究』に実践報告  
「八王子つばめ塾の取り組み」が掲載

6月 多摩信用金庫「広報たまちいき」に掲載  
毎日放送「ちんぷいぷい」

11月 日本経済新聞夕刊

## 2018

3月 韓国KBS「明見萬里」

4月 『AERA』  
「広報はちおうじ」(「フォーカスはちおうじびと」)

7月 八王子FM77.5「Twilight Avenyue」出演

## 2019

2月 Wantedly「Wantedly Journal」

5月 読売新聞朝刊にコメント掲載  
ショッパー(八王子中央版)に掲載

6月 NHK ラジオ第二放送「社会福祉セミナー」ゲスト出演

12月 TBS「ニュース23」

12月 日本経済新聞「漂流 大学入試改革(中)」

## 2020

1月 毎日新聞(東京版)

4月 TBS「ニュース23」  
(「休校中の子どもたちの学習と無料塾」)

5月 毎日新聞(東京版)

5月 MX テレビ「田村淳の訊きたい放題」

6月 時事通信(コメント掲載)

8月 J:COM「ジモト応援!つながるNews」

10月 ショッパー(八王子中央版)に  
「はばたけ!つばめの子」を連載

12月 テレビ朝日「スーパーJチャンネル」

## 2021

1月 NHK 教育「ハートネットTV」

9月 西日本新聞

10月 日本経済新聞(コメント掲載)

12月 FRAU

## 2022

6月 朝日新聞朝刊(東京都内版)

## 2023

3月 日本経済新聞

6月 毎日新聞

7月 朝日新聞朝刊

12月 東京新聞(書評欄)・毎日新聞(書評欄)

## 2024

2月 TOKYO FM  
「Tokyo Midtown presents The Lifestyle MUSEUM」  
NHK ラジオ第一「ラジオ深夜便」



# お祝いの言葉

多くの皆さまから 10 周年を祝う言葉をいただきました。本当にありがとうございます！

10 年ほど前に講師として活動させていただいたことが、今も鮮明に思い出されます。どんな子どもにも学ぶ場を。小宮先生の言葉は私の教育の原点です。たくさん子どもたちがこれからも巣立っていきますように。つばめ塾の益々の発展を心から願っております。**村松優さん**

10 周年おめでとうございます！  
これまでも、そしてこれからも八王子つばめ塾のことを応援しています!! **古澤伸泰さん**

娘の受験危機に親身になってくださったつばめ塾と先生方は救世主です。教育は愛情。つばめ塾の存在は生徒達が生きる糧になると信じています。**H.S さん**

今までつばめ塾にはお世話になっているし、今でもお世話になっています。これからもつばめ塾は続いてほしくて、1 人でも多くつばめ塾で有意義な時間を過ごしてほしいです。**I.N さん**

私が入塾したのが懐かしく感じます。つばめ塾での勉強で、日々の学校の授業へのモチベーションも高くなり、楽しく取り組めました! 今になり当時のことを思うと、熱心に教えてくださった先生方や小宮先生には感謝しかありません。これからもどんな形であれ関わっていきたいと思っています。**Y.I さん**

10 周年おめでとう!  
**マスターさん**

10 年は簡単には成し遂げられない永い時間です。「社会で子どもを育てる」と言っても、ここまで根気強く、力強く、着実に実行できる人(小宮さん(^^)や団体はそういるものではありません。つばめ塾が明るい未来を創る一端を担っていることは間違いなし。これからも、ずっと、愛されるつばめ塾で♡ **林愛子さん**

素晴らしい活動を 10 年間も続けていて尊敬できることが沢山あるので、合格して恩返ししたいです! **M.H さん**

つばめ塾は講師の先生だけでなく卒業生や寄付してくださる方々など、たくさんの人の協力があり、とても素晴らしい塾だと思います。これからも頑張ってください!**R.H さん**

沢山の子供たちのためにご尽力してくださったつばめ塾の皆様、心から感謝申し上げます。受験までの 1 年間お世話になりました。学習の支援はもちろん一番の支えは先生たちの優しさと思い遣りに触れ励まされ癒やされました。つばめ塾を卒業した今、自分に出来ることはないかな? という気持ちが芽生えてきました。**猫のお母さん(卒業生保護者)**

今お世話になっています。先生の説明がわかりやすく有り難いです。受験に向けて頑張るので応援宜しくお願いします。**R.S さん**

教育の場で、「誰ひとり残さない」精神を発揮し、情熱を持ってつばめ塾を運営されてきた小宮理事長はじめ、志をひとつに歩まれてきた講師、スタッフの皆様から感謝とエールを送ります。巣立った子どもたちが燕の巣に帰って来て、次のつばめ塾の中核になることを夢見ています。ありがとうございます。**中村憲一郎さん**

今までつばめ塾にはお世話になっているし、今でもお世話になっています。これからもつばめ塾は続いてほしくて、1 人でも多くつばめ塾で有意義な時間を過ごしてほしいです。**I.N さん**

精神的に大変な状況の受験時にサポートしていただき、ありがとうございました。先生のお陰で無事第一志望に合格できました。高校も元気に通学しています。辛い時に支えてくださった恩を還元していきたいです!**M.S さん**



私は小児科医を引退してから、何か子どもに役立つことはないかと思っていました。先日 TV 番組で貴塾を知り、素晴らしい活動に感銘を受けました。すぐに継続的な寄付を決めました。どんどん子どもを幸せにしてください。よろしくお願いします。**ひとくん**

八王子つばめ塾があったから今の僕がいます。現在、高 3 の受験生の真っ只中ですが、無事大学生になったら、是非つばめ塾に恩返しさせていただきます。これからも、貧困であっても教育を諦めなくていい環境の場を提供し続けてください。この先も、先生の情熱を応援します!**R.K さん**

3 年前からつばめ塾との御縁があり、今までお世話になっております。小宮先生とお会いする前はどんなかたなのかが緊張していたのですが、実際お会いすると、とても熱意があって話術に引き込まれました。教えてくださる先生方、生徒さん達みなさん熱い思いがあって、圧倒されることもあります。励みになってます。今後とも素晴らしい発展をしていきますように。**N さん**

つばめ塾を応援して下さっている全国の支援者の皆様、長きにわたる多大なご支援ありがとうございます。支援者の皆様のお陰で子どもたちは安心してつばめ塾へ通い続けることができ、我々は安定して子どもたちの勉強をサポートすることが出来ています。まだまだ格差の縮まらない社会ですが、これからも変わらぬご支援よろしく願います。**尺長憲昭さん**

我が子の高校受験では、先生方にとても親身に教えていただいただけでなく、無料塾という特性上、自分の多少の気の緩みがサポートいただく先生や支援者の方々の期待の裏返しになることを次第に理解し、卒業時には精神面でも大きく成長できたと思います。行政が担うべき支援を NPO 団体として継続して提供するという偉業は、塾の誇りです。小宮先生や事務局のこれまでのご尽力と関係者のご支援に改めて感謝を申し上げます。**K.M さん**

話題の無料塾としてラジオや TV で紹介されるなど、ご活躍を目にすることも多く、改めて感銘を受けました。今後も 10 年、20 年と続き、多くの塾生たちが巣立っていくことでしょう。私も、塾生たちの笑顔を励みに、微力ながらお手伝いさせていただきます。**川田 秀信さん**

数年前、八王子駅近くでアミダステーションというビルを見つけ、ネットで調べたら、つばめ塾の名前を見つけました。そして、つばめ塾をまた調べていたら、事務局長の小宮さんが私と同じ高校の出身と知りました。私はあの高校で落ちこぼれたものの、情熱と個性にあふれる先生に出会い、私の人生に良い影響がありました。この塾も情熱と個性あふれる先生がいて、生徒に良い影響があると信じています。**大西雅美さん**

塾に通って学校では学べないことを沢山学べました! 講師の方もとても面白くて質問とかも聞きやすかったです。いつか貢献できたらと思っています。**N.I さん**

開校 10 周年おめでとうございます。節目の年に携われ大変光栄です。これまでのように、この先も多くの生徒の助けになる塾であり続けられるよう、微力ながらお手伝いをしていきたいと思っています。**川端さん**

八王子つばめ塾の先生方には中高の受験期に大変お世話になりました。おかげ様で入学出来た大学では、先生方にかけていただいた言葉を励みにして特待生となって卒業、そして無事就職することが出来ました。つばめ塾の皆様を支えていただいたご恩を忘れず、これからは社会人として、先生方のように沢山の人を助けていける人間になれるよう精一杯頑張ります。今まで本当にありがとうございました。**M.S さん**

## 編集後記

編集 常山剛

小宮さんは大学の歴史研究サークルの同期で、以来20年以上のつきあいになります。八王子つばめ塾では、Web サーバの提供や Web サイトの管理・更新をボランティアで行っていますが、講師・事務のボランティアの皆さまのご尽力にはいつも頭の下がる思いです。今回、10年目という節目に、八王子つばめ塾の「歴史」をまとめるお手伝いができて光栄です。取材でお話をうかがうなかで、ボランティアの方々のほか、生徒・保護者・支援者など、つばめ塾はたくさんの人々の思いによって支えられていることを改めて感じました。小宮さんが掲げる「最低30年間は続ける」という目標が現実のものとなり、それを皆さまと共に祝えるよう願っています。

編集 國富由紀

私が小宮さんと初めて話したのは、まだ無料塾という言葉が耳慣れない2014年頃。熱く熱く語る小宮さんがとても印象的でした。その後、支援者様向けの広報紙作成をお手伝いすることになり、長い間つばめ塾を見てきました。子どもたちのために大人が汗水たらしてボランティアをする、こうあってほしいと願う、いわば「社会のきれいごと」が、つばめ塾では絵空事ではなく現実に確立されています。その活動を支えたのは、間違いなく大人の覚悟と熱意、そして大勢の皆さんのやさしさです。皆さまの想いを、この10年史に残す仕事ができて本当に光栄です。つばめ塾のこの10年は、きっと未来の子どもたちの幸せに繋がるはず。次の10年、20年も応援しています！

八王子つばめ塾10年史

発行日 2024年10月28日

発行人 NPO 法人八王子つばめ塾

連絡先 東京都八王子市元横山町1-10-3 池田ビル2階



**trubamejuku**

NPO法人八王子つばめ塾